



くらいまー

「くらいまあ」山之上の「登山家（とざんか）」

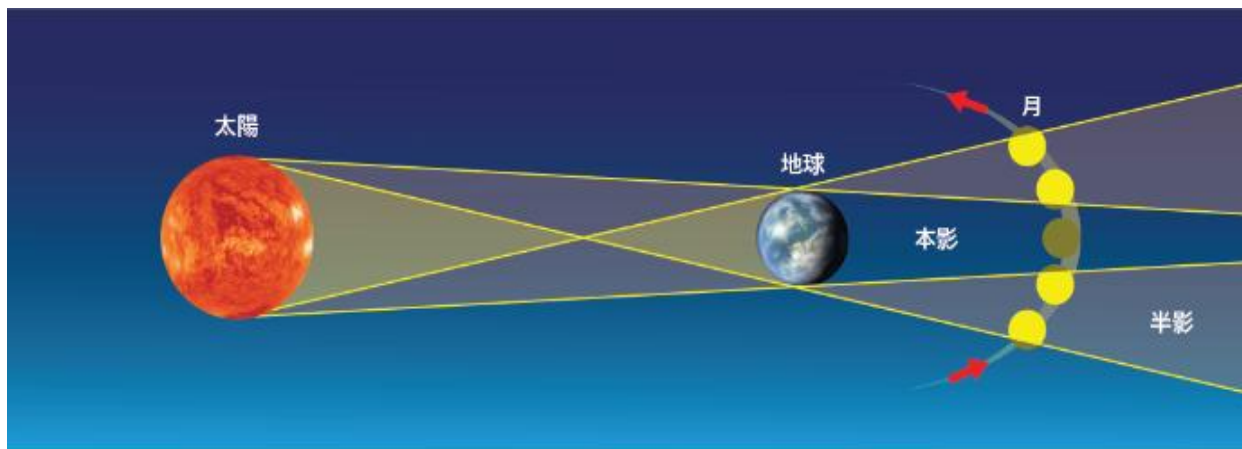


令和4年11月8日
校長通信（だより）17

「皆既月食（かいきげっしょく）」

昨日は、二十四節季の「立冬」でした。こよみの上でも、冬になります。

さて、今日11月8日は、昨年5月26日以来の「皆既月食」が見られます。今回は、天気にも恵まれ、見ることのできる時間帯もちょうどよいので、ぜひとも夕方の東の空を見上げてみましょう。



月食は、太陽に照らされた地球の影が、月にあたって、月がかける現象ですが、今日は、満月がすべて地球のかけにかくれてしまう「皆既月食」です。

夜の7時くらいから、月が欠けはじめ、夜8時には、満月だった月が地球の影に完全に入ってしまい、赤黒い月になります。その状態がだいたい1時間も続くのです。

今回の皆既月食では、実は、もう一つ珍しい現象もみられます。

太陽系の惑星の一つである、「天王星」が、満月に隠されてしまう、「天王星食」が起こることです。

赤黒く見えている間、だいたい夜の8時半くらいから、9時 20 分くらいまで、天王星が月の後ろ側に入って、見えなくなってしまう。ただ、天王星は6等星くらいのため、望遠鏡でないと見えないと思いますが、この現象は、大変珍しく、次にみられるのは、213 年後とされています。

（皆既月食の時に、惑星食があるのが大変に珍しいです）



今は、インターネットでいろいろと調べることができますので、ぜひとも今年最大の天体ショーともいわれる、この「皆既月食&天王星食 2022」を調べてみてください。宇宙の不思議がまだまだたくさんありますね。